

広域観光・文化振興局の取組状況について

■「関西観光・文化振興計画」に沿った施策の展開

今年3月に、関西から日本の元気を取り戻し、観光から日本の元気を取り戻すという高い目標を掲げて「関西観光・文化振興計画」を策定。この計画は、概ね10年間を見据え、当面の事業推進計画は平成24年度からの3年間とし、関西広域連合として府県や住民など幅広い主体のまとめ役を担いながら、関西が一体となって戦略的に取り組む方向を示しています。

計画に掲げた将来目標等

- ・日本の現状 来日外国人客数は世界第30位。魅力の発信と活用が不十分
- ・将来目標 関西の将来像を「アジアの文化観光首都」にする
- ・数値目標 関西への訪問外国人客数について、年間約1,000万人を目指す

○目標達成のための5つの戦略

計画では、これらの目標達成に向けて次の5つの戦略を掲げています。

(1) 「KANSAI」を世界に売り込む

広域観光ルートの提案や「KANSAI 国際観光YEAR」の展開 など

(2) 新しいインバウンド市場への対応

ニューツーリズムの魅力強化、MICEの取組強化 など

(3) マーケティング手法による誘客

ビジネスネットワーク構築、KANSAI WEB戦略 など

(4) 文化振興等との連携

文化芸術活動等の交流と関西文化の魅力発信、関西文化に親しむ機会の拡充 など

(5) 安心して楽しめるインフラ整備の充実

関西国際空港の魅力向上、おもてなし・利便性の向上 など

○平成24年度予算

戦略の具体化を図るため、広域観光・文化振興分野として、当初予算で2,127万2千円を計上、さらに先の8月補正予算において600万円の追加計上を行いました。

平成24年度分野予算（8月補正後）

- ・KANSAIブランドの構築 (22,172千円) KANSAI 国際観光YEARの実施
海外プロモーションの実施 など
- ・基盤整備の推進(4,690千円) 関西全域の観光統計調査、通訳案内士 など

■平成 24 年度の取組状況

OKANSAI ブランドの構築

世界の観光マーケットにおいては、関西 (KANSAI) の知名度はまだ低い現状にありますが、外国人観光客誘客に向けて、将来的にはブランドとしての優位性を確保する必要があります。このため、個々のイメージではなく、関西を一つのブランドとして積極的に海外に向けて発信する取り組みを展開します。

(1) 「KANSAI 国際観光 YEAR 2013」

2013 年を「KANSAI 国際観光 YEAR」と位置づけ、世界に誇る「関西の食文化」をテーマに関西が一体となって強力な PR 活動を行うこととし、8 月に、関西広域連合と構成府県市、経済団体、大学関係者等が集まって実行委員会を設立しました。

関西は優れた歴史・伝統・文化に恵まれています。中でも食文化は、多様な自然・文化と相まって、各地において豊かで伝統ある食文化が発展・継承されています。今後、関係団体と連携し、プロモーションやホームページなどで内外に発信していきます。

「KANSAI 国際観光 YEAR2013」のロゴマーク。桜やお椀をかたどっています



(2) 海外プロモーションの実施

「関西」をさらに魅力ある観光圏としてアピールするため、関係団体との連携のもと広域連合長等によるトップセールスを実施。歴史や文化、自然景観など関西の持つ多様な魅力を紹介し、KANSAI ブランドを発信します。

・韓国プロモーション

8 月、山田委員 (京都府知事) の訪韓の機会を捉え、ソウルで旅行社やブloggerなどを招いてセミナーを開催。「KANSAI 国際観光 YEAR 2013」を前に、食文化を中心とした関西観光の魅力を積極的に紹介し、関西への誘客を促進しました。



あいさつする秋山協議会長

セミナーでの食文化アピール



・中国プロモーション

9 月 11 日 (火) から 14 日 (金) にかけて、関西経済界等との連携のもと井戸連合長を団長に総勢 50 名の訪問団が、北京、杭州及び上海の 3 都市においてプロモーションを展開しました。

北京・上海においては、2013年に向けて、もてなしの心あふれる関西のすばらしい食文化をアピールするとともに、新たな関西の観光資源を紹介。また経済成長著しい杭州市においては、現地企業関係者などを招いてインセンティブツアー等関西MICEをアピールしました。



井戸連会長あいさつ
(北京・観光セミナー)

多くの旅行社が参加
(上海・観光セミナー)



浙江省幹部を招いての交流レセプション(杭州)



KANSAI 国際観光 YEAR2013 をアピール(北京)

(3) 名誉観光大使「KANSAI 観光大使」の任命

関西と海外との架け橋として活動され、関西へのインバウンドに尽力された方を称え、さらなる活躍を期待して「KANSAI 観光大使」に任命し、海外におけるネットワークの強化を図っています。トッププロモーションの機会に、韓国において3名、中国で4名の方を大使に任命しました。

韓国 イ・ヨンスク(李容淑)氏
キム・ギョンウ氏
ムン・チョルジン氏

中国 テイ・ホルイ(鄭保壘)氏
サイ・マンテツ(崔万哲)氏
シュウ・カシュ(周華殊)氏
谷口弘記氏



韓国での任命式(イ・ヨンスク氏)



北京での任命式記念撮影

(4) 山陰海岸ジオパーク活動の推進

韓国、中国プロモーションにおいて多様な関西の観光資源を紹介する中で、広域観光連携のモデル的な取り組みである山陰海岸ジオパークに関するトップセールスを実施。観光ルートとしての活用など山陰海岸ジオパーク関係事業を推進しています。

○文化振興の取り組み

(1) 関西「文化の道」事業／人形浄瑠璃のパンフレット制作

関西で発祥し全国に広がった関西共通の文化である「人形浄瑠璃」について、関西の府県域を越えた魅力あふれる文化資源の掘り起こしを行うとともに、観光客誘致を促すPR活動にも活用するため、文化庁補助金を活用して日本語、外国語（英語、中国語（簡体字、繁体字）韓国語）のパンフレットを制作します。

(2) 「関西文化の日」の取り組み

2府8県の文化施設等の協力を得て、11月の特定日の常設展等を無料とする「関西文化の日」について、10回目を迎える今回から関西広域連合と関西元気文化圏推進協議会の主催となり、関西が誇る長い歴史に培われた豊かな文化・芸術に気軽に接する機会を提供します。



(3) 「古典の日に関する法律」の制定

急激な時代の変化、揺れ動く世界の中にあって、「古典」のもつ深い叡智や高い芸術的達成は、確かな拠り所、大きな力になるものであるため、国に対して法制化を提案してきましたが、この9月5日に「古典の日に関する法律」が公布され、古典に学び、古典に親しむ日として「11月1日は古典の日」と定められました。



○その他の取り組み

(1) 基盤整備の推進

・人材の育成（通訳案内士）

各府県ごとに行っていた通訳案内士(全国)の登録事務を4月1日から広域連合で一元的に管理。事務の効率化を図るとともに、住所地にかかわらず圏域内府県庁での登録が可能になりました。関西を訪れる外国人観光旅客の利便性向上を目指して、関西の自然や歴史、文化に通じた人材の育成を図っていきます。

・関西全域を対象とする観光統計調査

関西としての効果的な誘客の取り組みを進めるため、関西圏域を対象に効率的・効果的な調査手法によって、外国人観光客の観光動向を把握します。